

科目名	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	副題	
担当者	伊東 正裕		
開講期	後期	単位数	2単位
		配当年次	1年次
授業の概要	<p>テーマは産業・労働分野における公認心理師の実践である。国や地方公共団体、企業内でのメンタルヘルス向上のため行われている臨床心理学的支援、コンサルテーション等に関わる理論の獲得と、企業内相談室、企業内健康管理センター、安全保健センター、ハローワーク、障害者職業センター等において行われている職業相談活動、具体的には職業への適性を巡る問題、発達障害を抱える人への臨床心理学的支援活動の実際とプロセスを理解する。</p>		
授業のねらい・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の産業・労働分野における臨床心理学的課題について理解し説明が出来る</li> <li>・産業・労働分野における心理支援専門職の具体的な実践内容について理解し説明出来る。</li> <li>・就職や転職、企業内キャリア形成に関わる心理支援について理解し説明出来る</li> </ul>		
授業の方法・授業計画			
1	授業オリエンテーション：授業概要、到達目標、授業の進め方		
2	産業・労働分野における臨床心理学的問題の変遷		
3	産業・労働分野における現代的な臨床心理学的課題		
4	企業内健康管理部門における心理支援専門職の機能と役割		
5	企業内健康管理部門における心理支援専門職の実践活動の実際		
6	外部EAP機関における心理支援専門職の機能と役割		
7	外部EAP機関における心理支援専門職の実践活動の実際		
8	就職・転職支援機関における心理支援専門職の機能と役割		
9	就職・転職支援機関における心理支援専門職の実践活動の実際		
10	障がい者就労支援における心理支援専門職の機能と役割		
11	障がい者就労支援における心理支援専門職の実践活動の実際		
12	ひきこもり・ホームレス支援における心理支援専門職の機能と役割		
13	ひきこもり・ホームレス支援における心理支援専門職の実践活動の実際		
14	産業・労働分野における心理支援専門職の課題		
15	全体のまとめ		
期末	レポート		
授業に関する連絡	でんでんばんを通しておこなう。		
評価方法及び評価基準	期末レポート（60％）、授業中の課題等への取り組み（40％）		
事前・事後学習の内容	毎回の授業で具体的に説明する。事前・事後合わせて2時間の学習を求める。		
履修上の注意			
テキスト			
参考文献			